巻頭特集

新たな拠点スポット「せきてらす」

関の魅力発信と交流活性化を目指して

3月19日にニューオープンした「せきてらす」。関市地域交流施設と新しい刃物会館を併設し、刃物、文化産業、人という関市の3つの魅力を幅広く発信していくとともに、地域の新たな交流を育むための施設です。施設の特徴や見どころなどと合わせ、今後に向けた展望などを聞きました。

移転して生まれ変わった岐阜関刃物会館

鎌倉時代から続く刃物のまちとして発展し、現在では国内における刃物製品出荷額のおよそ5割のシェアを占めている関エリア。関市では、そうした刀鍛冶や刃物に関連した施設が集中する地区を「刃物ミュージアム回廊」と名付け、刃物産業のさらなる高度化やまちの成長を促していこうとしています。

その新たな拠点として整備されたのが、3月19日にニューオープンを果たしたばかりの「せきてらす」。敷地内には、新しく誕生した関市地域交流施設と、移転して施設名を一新した岐阜関刃物会館が併設されており、自由に過ごすことのできる芝生の広場や、刀をイメージしたモニュメントなどもつくられています。

関市観光振興
トータルプロデューサー
柳田佳彦さん

「移転を契機に、包丁やナイフなどは展示方法も一新しました」と話すのは、岐阜関刃物会館の専務理事補佐を務める桜田公明さん。箱から出して中身を展示することで、各製品のデザイン性の高さがより強調され、比較検討もしやすくなっているとほほ笑みます。

館内には包丁やナイフのほか、ハサミ、爪切り、彫刻刀など幅広い刃物製品が充実。包丁研ぎ職人も常駐しており、気軽に包丁研ぎ体験を楽しむことも可能です。

地域のさまざまな魅力を伝えて交流を育む関市地域交流施設

一方の関市地域交流施設には、刃物だけに限らない、地域のさまざまな魅力を伝える観光案内所「せきのまどぐち」を設置。受付カウンターがカフェやショップと一体化してつくられており、従来の観光案内所とは一味違うおしゃれな雰囲気も魅力です。

岐阜関刃物会館
専務理事補佐
桜田公明さん

「ここは関市の文化や産業と出合っていただくためのスペースです」と話すのは、「せきてらす」ストアディレクターの村井美咲さん。「さまざまなものづくりをがんばっている職人さんなど、この地域には刃物以外にも面白いコンテンツが充実していることを紹介していきたい」と意気込みます。

さらに情報発信だけでなく、地域で人と人の新しいつながりを育んでいくことも同館が掲げる目標の一つ。それを象徴する場所が、誰もが自由に使うことのできる多目的ホール「じゆうなひろま」です。大きな特徴はシェルフやテーブル、スツールなどがすべて移動式になっていること。隣接する「つなぐすいじば」には移動式のシステムキッチンも用意されており、さまざまな教室や発表会、会議などに合わせて、ホールを使用する人が自由にレイアウトできるように配慮されています。

「極端なことをいってしまえば、地域で面白いことをやっている人たちが集まって、私たちスタッフも知らないうちにイベントが始まっていた。そんな風に使われていくのが理想です」と話すのは、「せきてらす」オペレーションディレクターの伊藤佳代子さん。「自然発生的な集まりを通して、地域のつながりが生まれるような場所にしていきたい」とほほ笑みます。

そのほかにも、関の刃物を使ったアートづくりなど、体験や教室を楽しむことのできる刃物工房「てつくりば」を完備。さらに岐阜関刃物会館、関市地域交流施設とも、地下から発掘された室町時代後期の炉跡が足元の床ガラスを通して見学できるようになっています。どちらも、刃物のまちの起源につながる重要な遺跡。遠い昔に思いを馳せてみるのも面白い体験です。

❶刃物を使った体験や教室を行なっていく関市地域交流施設の刃物工房「てつくりば」 ❷関市地域交流施設の観光案内所「せきのまどぐち」。明るく開放的な空間です

もっと地域の人たちにも関の魅力を知ってもらいたい

オープン後の最初の週末である3月20日と21日には、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、入場制限を設けた上でオープニングイベントを開催。マルシェや刃物体験、ミニ刃物まつりなどが行われ、大盛況のうちに幕を閉じました。

こうしたイベントは今後も積極的に実施していく予定です。「それぞれの刃物の魅力をPRする企画展なども計画していきたいと思っています」と桜田さん。村井さんと伊藤さんも「秋から冬くらいにかけて、マルシェやワークショップなどを開催していきたい」と声をそろえます。

「ついに長年の念願であった地域の一大交流拠点を構えることができました」と、ほっとした表情を見せるのは、関市観光振興トータルプロデューサーの柳田佳彦さん。今後は周囲のさまざまな施設とも連携し、関市全体の観光振興につなげていきたいと前を見据えます。

「そして何よりも、まずは市内の皆さんに、関がこんなに面白いまちだったんだということを知ってもらいたい。地域の活性化を促していくためには、たくさんの人たちが自分のまちに誇りや愛着を持ってもらうことが重要だと考えています」

関市のさまざまな魅力に触れることのできる地域の新たな拠点スポット「せきてらす」。ここに来れば、わくわくするような楽しいことや人と出会える可能性が広がります。ぜひ皆さんも足を運んでみてください。

「せきてらす」
オペレーションディレクター
伊藤佳代子さん

「せきてらす」
ストアディレクター
村井美咲さん

❸新しく生まれ変わった岐阜関刃物会館。展示方法が変わり、これまで以上に各製品の美しさが映えるようになりました ❹岐阜関刃物会館では、ハサミや爪切りなども含めた幅広い刃物製品を販売

手前に見えるのが刀をイメージしたモニュメント「関伝乱舞」。夜はきれいにライトアップされます

information

せきてらす

関市地域交流施設
所在地: 関市平和通4-12-1
開館時間: 9時～17時
定休: 火曜、祝日の翌平日、年末年始
電話: 0575-23-1670

岐阜関刃物会館
所在地: 関市平和通4-12-6
開館時間: 9時～17時
定休: 年末年始
電話: 0575-22-4941

文／藤原均　写真／FOUNDATION PHOTO 中地浩行　デザイン／chica